

株式会社シャインカービングアカデミー 田中淳也

彫刻刀製造からアートの創造へ

# 老舗メーカー後継者の挑戦

透明なビニール板に、無数の彫刻跡。光を通すと彫刻跡で光が屈折し、キラキラ輝いて見えるところから、シャインカービングと名付けられた新アートがある。生み出したのはシャインカービングアカデミー代表の田中淳也さん。新たな文化を生み出そうと挑戦する姿を追った。

滑らかな彫り感が楽しい  
誰でもできる新アート

刃を寝かせ、滑らせるように前へ。スルッと小気味よい感覚が指先に伝わる。絵がプリントされたビニール製のシートは、どこを彫ればいいのか絵心のない人でも明確にわかる。浮き上がらせる部分は、その周りを三角刀で削り、ほかの部分はくるくるとシート自体を回しながら、手前から奥へ丸刀を滑らせる。一心に彫刻を続けると、程なく完成した。下絵通りに彫っているため、出来栄は想像以上に美しい。美術が苦手な人ほど、自分でつくり上げたと思えないクオリティーに感動するだろう。彫刻刀を入れた跡が、光を反射し、キラキラと輝いて見える。彫り方によって雰囲気が変わり、幾何学的な模様はもちろん、人物画や日本画、写真など、さまざまなモチーフに対して、新しい味わいを見せてくれる。



株式会社  
シャインカービングアカデミー 代表  
田中淳也さん

彫刻刀が好きなのか  
自問自答が生んだ発想

シャインカービングの開発について、田中さんに尋ねる。もともとアートが好きだったのか、それとも家業の彫刻刀を愛していたからこそ生まれてきたものなのか。その答えは予想外のものだった。

「両方とも嫌いではないですが、特に好きともいえません」。その言葉が、実はシャインカービング誕生に大きく関わっていた。

義春刃物を経営する家の長男として生まれた田中さん。当時社長だった祖父からも「大人になったら継いでほしい」といわれて育ち、子どもの頃から「いつか経営者になる」と夢を描いていた。しかし、子供のころから刃物一筋ではなかった。「ゲームの制作会社をつくりたい」と思っていた時期もあります。大学も刃物とは関わりのない化学を学ばせてもらって



無料配布している体験キット。現在までに、およそ2千セットは配布しているそう

「そうした経験をもって、2012年にいよいよ義春刃物に入社。職人として、義春刃物の製造を行いながら、新しいビジネスを考えました。そして、企画課を新たに立ち上げ、最初はもともと自社商品だった肉のスジ切り器をリニューアル。自分が自信をもって勧められるかという視点を大切に、デザインを変え、使いやすさを追求した。

そんななか、葛藤が生まれる。売れる商品を生み出すためには、自信を持たなければならぬ。しかし、自社の主力商品である彫刻刀を、自分は本当に好きなんだろうか。「改

多人数で二つの作品を  
無限に広げる可能性

「彫刻をするのは好きでした。でも、それは彫刻刀自体が好きという訳ではないのに気付いてしまった。彫刻刀は楽しいと自分自身が知る必要がありました。そこで、マーゴでいろんなものを買ってきて、全部彫刻刀で彫ったんです。繰り返し返すうちに、ビニール製の怪獣人形に出会いました。彫っていて、すごく気持ちがよかったです」

ビニールに出合っ生み出したのは、エイリアンの人形。なかにライトが仕込まれ、彫った跡が光るようになっていた。「全国規模のニュース番組で取り上げられるなど、手ごたえはありました」と田中さん。しかし、期待に反して、まったく売れなかつた。手探りで改善策を探すうち、江戸切子をヒントに、ビニールシートの彫刻に思い至る。「やってみると、手軽にできる割に、彫り方によって光の反射が変わって面白味を感じました。なにより、試しに従業員にやってみたら、反応がすごくよかったですよ」と振り返る。

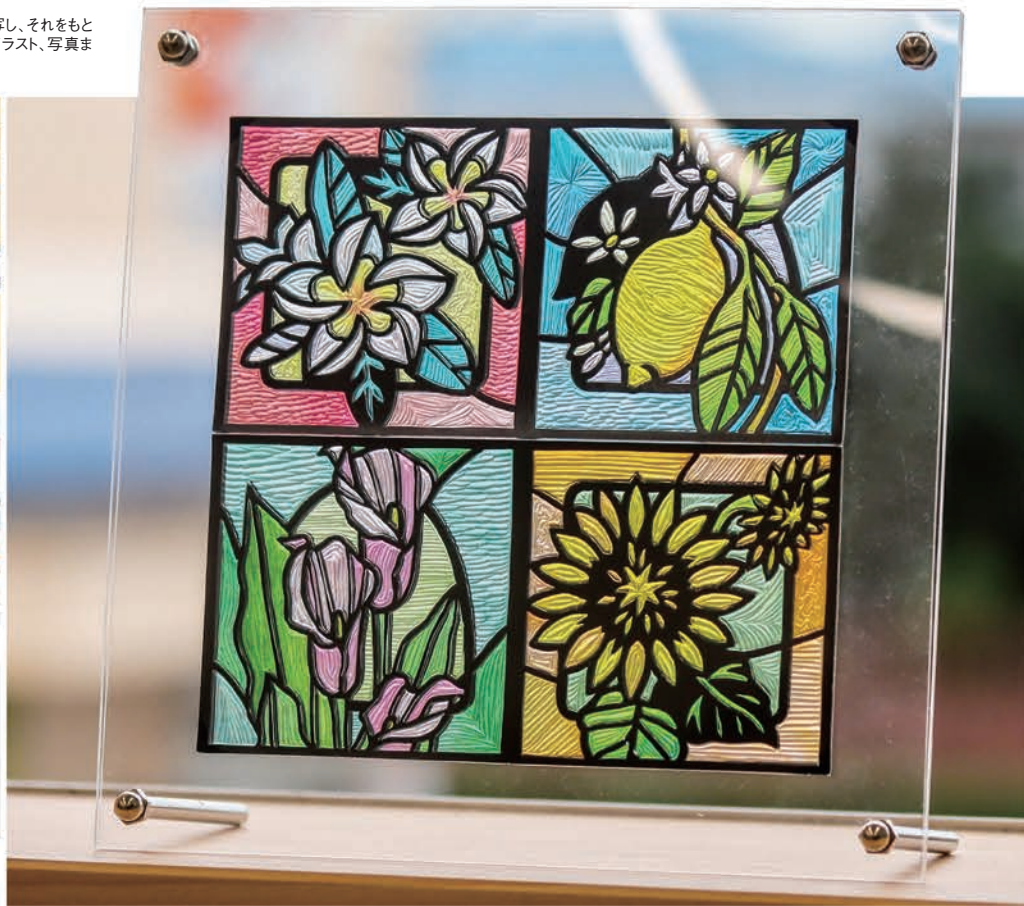
早速、ビニールシートを140セット手づくりし、刃物まつりに並べた。すると、2日目には完売。

シャインカービングアカデミーを立ち上げ、新たなアートの普及を始めた。ビニールシートと彫刻刀をセットにした体験キットを無料で配り、イベントなどでワークショップを開く。次第にSNSなどで、「楽しかった」と感想が書かれるようになったという。「会社の主力商品を無料で配るのは、最初は考えられないことでした。ですが、シャインカービングなら、彫刻刀が無料でも、シートを買ってくれる。さらに、専用彫刻刀の需要も生まれています」と新たなニーズの開拓に手ごたえを感じている。

今後の目標は、シャインカービングが世紀を超えて、百年先も世界で愛されるアートになっていくこと。大きな目標だが、夢物語ではない。昨年、日本ホビー協会が行っているホビー産業大賞において、「経済産業省 製造産業局長賞」を受賞した。また、地元でも令和2年度中にオープンするせきてらすのイベントとして、「1000人で創る！特大シャインカービング」を実施している。「別の場所でも一つのアートをつくれるシャインカービングは、コロナ禍の時流にも合っている」と続けた。多くの人を巻き込み、一つのものづくりを共有できるシャインカービング。いずれアートの1ジャンルとして、世界を席巻する日が来るかもしれない。

目標はシャインカービングが世紀を超えて、  
世界で愛されるアートになっていくこと。  
大きな目標だが、夢物語ではない。

シャインカービングはプリンターでシートにデザインを転写し、それをもたに彫っていく。デザインは幾何学的な模様から、和洋のイラスト、写真まで何でも可能



シャインカービングは、木の彫刻をする時とは方法が異なる。刃を寝かせると、真っすぐ滑るように削れる

## information

シャインカービングアカデミー

<https://shinecarver.com/>

YouTubeで制作動画を配信中!



シャインカービングを彫る田中淳也さん。新しいアートの普及に東奔西走している



④過去に開発した彫ると輝くエイリアン人形 ⑤イベント会場や商業施設、学校など、さまざまな場所でシャインカービングの魅力を広げている ⑥ホビー産業大賞「経済産業省 製造産業局長賞」を受賞